

2019年度出番表(案)について協議 第4回 団体交渉



交渉も大詰めとなり、今回は仲取締役も出席されました。
今回は処分の見直し、2019年度出番表(案)について
重点的に協議を行いました。

2018年12月14日本社棟101会議室において第4回団体交渉が行われました。執行部6名、経営側からは仲取締役、木塚所長、吉岡副所長、伊藤次長が出席しました。

処分の見直しについて

処分の見直しについて最終調整を行い、法令違反については労働時間超過の基準を1カ月260時間にする、休憩時間は17時間以上の拘束時間に対してという基準を設ける事が確認されました。

(執行部) 休憩は3時間取らなければいけないと就業規則で定められています。2時間30分で報告書を書かせていることですが、2時間30分で良いと拡大解釈している乗務員も多数います。処分の見直しは安全を重視したものでなければ意味がありません。今後は2時間30分を切っている乗務員に対し、何故3時間取らなければいけないのかという事を理解させ、指導を徹底して下さい。処分は1時間30分以下だけとなっています

が、それ以外は報告書を書かせるだけで、ペナルティはないのですか？
(経営側) 1カ月内に休憩2時間以下を5回した者については次年度の公出、または残業禁止。それを2回繰り返した者は譴責処分とします。

2019年度 出番表(案)について

経営側より2019年度の出番表(案)が手渡されました。

(執行部) 日曜日休み、大型連休もあり、月の労働時間数もクリアしていますが、特別残業が年に3回となっています。平均5回だった特別残業が3回になると5,000円→10,000円の減収となってしまいます。そのことについてはどう考えていますか？

(経営側) 過去10年間で特別残業が7回の年もあれば6回の年もあります。また、うるう年には減ってしまいます。特別残業を減らそうとしたわけではありません。来年は増える可能性もあります。

(執行部) まだ細かい所を協議する必要があります。2019年度から施行される有給の問題もある、乗務員にとって不利益にならないよう春闘要求も検討していきます。

スタッドレスタイヤについて

(執行部) 現在、何台分スタッドレスタイヤを確保していますか？ジャパンタクシーへの代替えが進んでいます。スタッドレスの準備はしていますか？

(経営側) クラウンは4輪装着160台分確保しています。ジャパンタクシーは現時点で70台代替えが完了しており、今月更に増える予定です。4本装着すれば半分の35台分です。

(執行部) 東タク協から公共交通機関としての役割を果たす為、4輪装着するようにと通達されています。デビューしたばかりの新人がジャパンタクシーに乗っており、FFだから大丈夫という事ではありません。白タクまがいのものに取られてしまわない為にも、4輪で営業できるように本数を増やして下さい。

2019出番表 処分の見直しが決定 第5回 団体交渉

2018年12月26日本社棟101会議室において第5回団体交渉が行われ、執行部5名、経営側からは仲取締役、木塚所長、吉岡副所長、伊藤次長が出席しました。経営側から回答書が手渡され、各項目ごとの回答が読み上げられました。

1. 嘱託乗務員の基本給について

A、法改正の動きをみて検討して参ります。

2. 遅番の能率給の腰高減額変更について

A、賃金改定の際に検討したいと考えています。

3. 高速帰路料金の会社負担について

A、①首都高速の帰路負担については、距離別料金の際に検討されており、現状のままです。
②外環状線は、まだ完成されておらず、その利用頻度についても不透明です。検討には時期尚早と考えます。

③④⑤圏央道、首都高横浜北線、アクアラインも②と同様。

4. スタッドレスタイヤについて

A、スタッドレスタイヤは、ジャパンタクシーへの代替でクラウンの本数は準備できています。代替を進めているジャパンタクシーは、日本交通本社でオールシーズンタイヤの検証を行っており、導入か否かの判断も待っています。計画的に増やし、出来るだけ装着できるように進めていきます。

5. 会社施設全体の修繕について

A、会社施設は、計画的に修理・修繕していきます。次々に修理箇所が出ますので、高額のものは予算を立てて対応していきます。今期中にはエレベーターの交換を予定しています。

6. 処分の見直しについて
A、処分の見直しは別表の通りとなります。
(1月8日、9日出番会において周知)
7. 出番表通りの配車について
A、できるだけ出番予定表に沿ったものを目指します。
8. ジャパンタクシーのラジオについて
A、ラジオ付きのジャパンタクシーを数台導入しましたが、日本交通本社からタブレットを追加装備し、そのタブレットにラジオのアプリを入れる予定と連絡がありました。すでに追加装備の実証実験を行っており、日本交通から正式な回答を待っている状態ですので今暫くお待ち下さい。
9. ジャパンタクシーのシートカバーについて
A、現状ではシートカバーを付ける予定はありません。
10. バイク置き場の拡張について
A、利用方法や注意書きを掲示するなど行い、整理整頓を徹底して対応します。
11. インフルエンザの予防接種負担について
A、12月20日、21日に会社でインフルエンザの予防接種を行いました。その際、会社が1,000円を負担し、自己負担は2,000円で接種しました。また、外部で接種した場合も同様に1,000円を負担しています。但し、年内に接種した場合に限ります。12月25日で約200名が接種しています。
12. 2019年度出番表について
A、出番予定表は別紙の通りとします。
(2019年1月4日より組合事務所に配布します。)
13. 三笠山について
A、1月4日(金)～7日(月)に初出勤した方へ三笠山をお年賀として用意します。

(執行部) ラジオの取り付けを要求したのは防災に備えての事ですが、タブレットに着けた場合、災害時に対応できるのですか?
(経営側) 本社の見解を確認します。
(執行部) 見直しを行った処分については優良乗務員表彰の基準が12月31日までとなつて



いるので1月1日から施行ということですか?
(経営側) そのように1月の出番会でも説明します。事故多発については、出勤停止処分を無くし、教育に時間をかけていきます。それと引き換えに事故の損害賠償金を一カ月一律5,000円とします。来年の6月1日からは日交資本のグループ会社も含め、事故に関する処分は統一するよう検討していますので、事故の部分については5月31日までの適用となります。

できるよう努めています。

5. 会社施設は、計画的に修理・修繕しています。次々に修理箇所が出ますので、高額なもの、予算を立てて対応しています。今期中にはエレベーターの交換を予定しています。

6. 処分の見直しは別表の通りとします。

7. できるだけ出番予定表に沿ったものを目指します。

8. ラジオ付きのジャパンタクシーを数台導入しましたが、日本交通本社からタブレットを追加装備し、そのタブレットにラジオのアプリを入れる予定と連絡がありました。すでに追加装備の実証実験を行っており、日本交通から正式な回答を待っている状態ですので今暫くお待ち下さい。

9. 現状ではシートカバーを付ける予定はありません。

10. 利用方法や注意書きを掲示するなど行い、整理整頓を徹底して対応します。

11. 12月20日、21日に会社でインフルエンザの予防接種を行いました。その際、会社が1,000円を負担し、自己負担は2,000円で接種しました。また、外部で接種した場合も同様に1,000円を負担しています。但し、年内に接種した場合に限ります。12月25日で約200名が接種しています。

12. 出番予定表は別紙の通りとします。

13. 1月4日(金)～7日(月)に初出勤した方へ、三笠山をお年賀として用意します。

以上

平成30年12月26日

東洋交通労働組合
執行委員長 新池 希 殿

東洋交通株式会社
代表取締役 川崎 一 殿

回答書

2018年9月20日付、貴労組より2018年秋闘要求書が出され、これまで幾度にも渡り真摯に協議を重ねて参りました。現在、日本を取り巻く国際情勢は米中間の行方次第と不透明で、国内においても米中貿易摩擦の悪化、新天竺の即位式がおこなわれ、GWは過去にない連休となります。また、働き方改革の一環として有給休暇の取得促進が課せられ、秋には消費税上げが予定され減収幅は大きくなるかと予想されます。そのような状況下でライドシェアの食い止め、車載機器のIT化、国際水準に合わせたキャッシュレス化を進めていかなくてはなりません。更に新たなライドシェアとして「クルー」の合法化問題があり、業界全体で阻止に向かわなくてはならない課題が山積しております。このような意図の中、誠意ある回答をすべく精一杯要求に答えようとして協議を続けてきた結果、回答時期が今日になっております。下記のとおり要求に回答致しますので、昨今の経済事情を鑑み何卒ご理解とご協力をお願い致します。

記

1. 法改正の動きをみて検討して参ります。
2. 賃金改定の際に検討したいと考えています。
- 3) 首都高道の増徴負担については、距離別料金の際に検討されており、現状のままです。
- 2) 外郭環状線は、まだ完成されておらず、その利用頻度についても不透明です。検討には時季尚早と考えます。
- 3) 圏央道についても2)と同様です。
- 4) 首都高環状線についても2)と同様です。
- 5) アクアラインについても2)と同様です。
4. スタッドレスタイヤは、ジャパンタクシーへの代替でクラウンの本数は準備出来ております。代替を進めているジャパンタクシーは、日本交通本社でオールシーズンタイヤの検証を行っており、導入可否かの判断も持っています。計画的に増やし、出来るだけ装着